

■ 次の問いに答えよ.

(1) $X = \mathbb{R}^2 \times \mathbb{R}^2$ における二項関係 $\overset{R}{\approx}$ を

$$(\mathbf{a}_1, \mathbf{b}_1) \overset{R}{\approx} (\mathbf{a}_2, \mathbf{b}_2) \iff \mathbf{b}_1 - \mathbf{a}_1 = \mathbf{b}_2 - \mathbf{a}_2$$

により定める. ただし, $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2 \in \mathbb{R}^2$ であり, 任意の $\mathbf{a} = (a_1, a_2), \mathbf{b} = (b_1, b_2) \in \mathbb{R}^2$ に対して $\mathbf{b} - \mathbf{a} = (b_1 - a_1, b_2 - a_2)$ とする. このとき, 二項関係 $\overset{R}{\approx}$ は X における同値関係であるかどうか調べよ.

(2) 集合 $X = \mathbb{R}^2 \setminus \{(0, 0)\}$ における二項関係 \sim を

$$(x_1, y_1) \sim (x_2, y_2) \iff \exists r > 0 : x_1 = r x_2 \text{ かつ } y_1 = r y_2$$

により定義すると, 二項関係 \sim は X における同値関係である (証明は省略してよい). 各 $(a, b) \in X$ に対して (a, b) を代表元とする同値関係 \sim に関する同値類を $C((a, b))$ と表し, 商集合 X/\sim における演算 \boxplus を

$$C((a_1, b_1)) \boxplus C((a_2, b_2)) \stackrel{\text{定義}}{=} C((a_1 a_2 - b_1 b_2, a_1 b_2 + a_2 b_1))$$

により定義する. このとき, 演算 \boxplus は代表元の取り方に依存せずうまく定義されている (well-defined) ことを示せ.

(解) (1) (i) 任意の $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in \mathbb{R}^2$ に対して $\mathbf{b} - \mathbf{a} = \mathbf{b} - \mathbf{a}$ であるから, $\mathbf{x} = (\mathbf{a}, \mathbf{b}) \in X$ に対して $\mathbf{x} \overset{R}{\approx} \mathbf{x}$ が成り立つ. (ii) $\mathbf{x}_1 = (\mathbf{a}_1, \mathbf{b}_1), \mathbf{x}_2 = (\mathbf{a}_2, \mathbf{b}_2) \in X$ に対して $\mathbf{x}_1 \overset{R}{\approx} \mathbf{x}_2$ とする. 二項関係 $\overset{R}{\approx}$ の定義より $\mathbf{b}_1 - \mathbf{a}_1 = \mathbf{b}_2 - \mathbf{a}_2$ が成り立ち, 左辺と右辺を入れ替えると $\mathbf{b}_2 - \mathbf{a}_2 = \mathbf{b}_1 - \mathbf{a}_1$ となる. 二項関係 $\overset{R}{\approx}$ の定義より $\mathbf{x}_2 \overset{R}{\approx} \mathbf{x}_1$ である. (iii) $\mathbf{x}_1 = (\mathbf{a}_1, \mathbf{b}_1), \mathbf{x}_2 = (\mathbf{a}_2, \mathbf{b}_2), \mathbf{x}_3 = (\mathbf{a}_3, \mathbf{b}_3) \in X$ に対して $\mathbf{x}_1 \overset{R}{\approx} \mathbf{x}_2, \mathbf{x}_2 \overset{R}{\approx} \mathbf{x}_3$ とする. 二項関係 $\overset{R}{\approx}$ の定義より $\mathbf{b}_1 - \mathbf{a}_1 = \mathbf{b}_2 - \mathbf{a}_2, \mathbf{b}_2 - \mathbf{a}_2 = \mathbf{b}_3 - \mathbf{a}_3$ が成り立ち, $\mathbf{b}_1 - \mathbf{a}_1 = \mathbf{b}_3 - \mathbf{a}_3$ となる. 二項関係 $\overset{R}{\approx}$ の定義より $\mathbf{x}_1 \overset{R}{\approx} \mathbf{x}_3$ である. 以上から, 二項関係 $\overset{R}{\approx}$ は X における同値関係である.

(2) $C((a_1, b_1)) = C((c_1, d_1))$ かつ $C((a_2, b_2)) = C((c_2, d_2))$ とする. $(a_1, b_1) \sim (c_1, d_1)$ かつ $(a_2, b_2) \sim (c_2, d_2)$ より, ある $r_1 > 0, r_2 > 0$ が取れて $a_1 = r_1 c_1, b_1 = r_1 d_1, a_2 = r_2 c_2, b_2 = r_2 d_2$ が成り立つので,

$$a_1 a_2 - b_1 b_2 = r_1 r_2 (c_1 c_2 - d_1 d_2), \quad a_1 b_2 + a_2 b_1 = r_1 r_2 (c_1 d_2 + c_2 d_1)$$

が得られる. $r_1 r_2 > 0$ と同値関係 \sim の定義より

$$(a_1 a_2 - b_1 b_2, a_1 b_2 + a_2 b_1) \sim (c_1 c_2 - d_1 d_2, c_1 d_2 + c_2 d_1)$$

であるから,

$$\begin{aligned} C((a_1, b_1)) \boxplus C((a_2, b_2)) &\stackrel{\text{定義}}{=} C((a_1 a_2 - b_1 b_2, a_1 b_2 + a_2 b_1)) \\ &= C((c_1 c_2 - d_1 d_2, c_1 d_2 + c_2 d_1)) \stackrel{\text{定義}}{=} C((c_1, d_1)) \boxplus C((c_2, d_2)) \end{aligned}$$

となり, 演算 \boxplus は代表元の取り方に依存せずうまく定義されている. ■